

your field

平成21年11月11日号
神奈川大学
ボランティア活動支援室通信
NO.3

Your field=あなたの夢(世界)ボランティアを通して見つけてもらいたい。
と言う想いから名づけました。

必読！！

神大生のボランティア体験記！

夏ボラ 事後報告会

夏休みにボランティア活動を行った方はどうでしたか？きっと初めての方もベテランの方も貴重な経験となり、楽しく活動できたのではないかと思います。そのような方々のお話を聞くために、ボランティア支援室では10月14日(水)に事後報告会を行いました。

ふりーふらっと野毛山、びーのびーの、富士山国際エコキャンプ村で活動を行った7名の方々が参加してくれました。



まず初めに、ボランティア活動を行ってどうであったかをワーク形式で記入してもらいました。その後、良かった点や悪かった点もふまえて自分の体験したことを詳しく語ってもらいました。皆さん、ボランティア活動を通して楽しかったことや感動したこと、ちょっと笑える裏話など、たくさんお話してくれたので、私たちスタッフにも良い刺激となりました。そして、今後のコーディネート活動などにも活かしていけたらと思います。



体験者のお話は次のページからご紹介します

ボランティア体験記

ここでは、ボランティア活動での体験談やボランティアに対する今後の考え方などを先日行った「夏休みボランティア事後報告会」を元に紹介したいと思います。

ふりーふらっと野毛山

びーのびーの

富士山国際エコキャンプ村



ふりーふらっと野毛山

ふりーふらっと野毛山は小学生の児童と一緒に遊んだり勉強したりする場所です。今回の夏ボランティアでは、スタッフを含めて4人の方が参加してくれました。そして、皆さん多くの小学生と触れ合うことが出来て良い経験になったそうです。その中でも、一番長くこの活動をしたいと願っていた学生の体験記をここでは紹介したいと思います。

その学生は今年3年生になる学生で、1年生の時からこの活動に参加したいと思っていたそうです。期間は5日間と短い期間だったそうなのですが、色々なことを学び、体験出来たと語っていました。例えば、実際の小学生とじかに触れ合うことで、子どもとの接し方を理解できたり、子どもたちの夢を聞くことが出来たりと、今子どもたちが何を考え、何を感じ、何に興味を持っているのかが知ることが出来たことがとても良かったと語ってくれました。もちろん、すべての活動が良かった訳ではなく、いくつか残念だったこともあったそうです。例えば、子どもたちの危ない行動(遊び)を注意することが出来なかったなど、一緒に遊ぶことは出来ても子どもたちを叱ることが出来なかったそうです。このような“子どもを注意する”という難しさはの方だけでなく、体験した方のほとんどが感じています。大学生は大人と触れ合う機会が多くなる一方で子どもと触れ合う機会が少なくなります。それだけでなく、自分が大人になることで自分の子どもの頃を忘れてしまうこともあります。そんな中で、今の子どもたちの現状だけでなく、今大人になる自分たちがどう子どもと接していけば良いのか、どのように関わっていけば良いのかを子どもと接することによって学ぶことが出来たと、多くの体験者も語ってくれました。

びーのびーの

びーのびーのとは0歳から3歳児を対象とした乳幼児と関わることの出来る場所です。ここでは他のボランティアと違い、乳幼児の保護者とも関わる事が出来ます。今回の夏ボランティアでは、スタッフを含めて2人の方が参加してくれました。

参加してくれた学生はボランティアに興味があり、自分自身が小さな子どもと触れ合う機会がなかったので、このボランティアの参加を決めたそうです。先述しましたが、びーのびーのは子どもと接するだけでなく保護者とも接することが出来るので、実際の子育ての話や苦労話などを聞くことが出来て、今後の参考になったと語ってくれました。また多くの人と関わることによって、ボランティア同士で交流が出来たり、どのように子どもに接すれば良いのかを学ぶことが出来たりと、人と人との輪が広がっていったので、良い経験になったと語ってくれました。

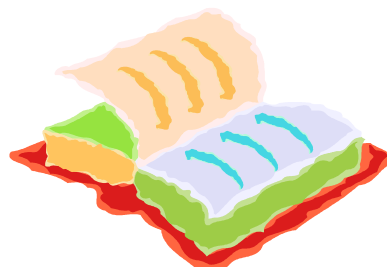
富士山国際エコキャンプ村

このボランティアは、上記2つのボランティアとは違い、大学生や大人の方たちと一緒に福祉、森林、バラ園、酪農、ごみ拾いの5つのテーマをもとに1週間泊まり込みで活動していく合宿型ボランティアです。今回の夏ボランティアでは3人の学生が参加してくれました。ここではそれぞれの体験談を紹介したいと思います。

富士山国際エコキャンプ村では、他のボランティアとは違って全く知らない人達と一緒に寝泊りや食事をしていく中で、他の参加者の方々と仲良くなっていったそうです。また、自分自身が今行っている活動が今後どのように活かされるのかということを考える場もあり、ただボランティアをするだけにとどまらず、今後の自分たちがどう動けば良いのかを学ぶことが出来たと語ってくれました。それ以外にも、海外から参加した方たちとも少しだけ関わることが出来、とても良い経験になったと語ってくれました。そして、もう一つ面白い話を3人はしてくれました。この活動は1週間の共同生活が基本なので、食事や寝る場所は他の参加者と共有するそうです。ですので、食事のおかずはもちろん、ご飯や場所さえも取り合いとなり、しまいには寝床も確保するのが難しかったそうです。今の大学生は寝る場所や、食べる事に苦労することはありません。しかし社会出たら、それは自分自身で確保しなくてははいけません。その時には、この体験で培ったノウハウを使って今後役に立って生きたいと語ってくれました。これ以外にも、ボランティアをする意義、自分たちが行動していく義務を知ることや本音で語り合えるかけがえのない仲間を手に入れることが出来、貴重な経験が出来たと語ってくれました。

ボランティア支援室スタッフ

体験記



今回の夏のボランティアでは、ボランティア支援室のスタッフも参加しました。ここでは、スタッフの体験談をご紹介します。

ふりーふらっと野毛山 参加スタッフ 法学部法律学科1年 女子

私は大学に入ったら、子どもに関わるボランティアをしてみたいと思っていました。なので、今回の活動はとても楽しみにしていました。このボランティアは、子どもと触れ合うことが出来たり、高校生の人など少し年齢が下の人たちと触れ合うことが出来たりと良い経験をする事が出来たと語ってくれました。そして、最初は出来るかどうか不安だったそうなのですが、やってみることでその不安を拭い去るだけでなく、今後どう子どもたちと接していけば良いのかを少しだけでも学ぶことが出来たので、とても良い思い出になったと語ってくれました。

びーのびーの 参加スタッフ 人間科学部人間学科3年 女子

私は今回2回目の参加で、前回とは違ってこのボランティアの活動や自分の行くべきことが分かっていたので、以前より迷うことなくボランティアに集中出来ました。そしてこの活動は子どもと関わるだけでなく、その保護者と関わる事が出来たので、今後の人生の役にもたちました。また、子ども達と積極的に関わることで、子ども達にどう接していけば良いのか、という事も知ることが出来たのでとても良い体験になりました。

秋の収穫祭の報告

10月31日・11月1日日本大通りにて tvk 主催の「秋の収穫祭」がありました。このイベントに、ブックオフコーポレーションとの産学連携事業の国際交流事業として、スタッフも2日間チャリティ販売のボランティアに参加しました。当日は天気にも恵まれ、当初の予定を遥かに超える1500冊もの本を販売致しました。チャリティ販売に来て頂いた皆さま、ご協力ありがとうございました！



スタッフ メッセージ

大学生になって自由な時間がある程度でき、何か人のためにしたい、新しい世界を体験してみたいという人にはボランティアが是非お勧めです！ボランティアをすることにより、普段話せないような人々と関わることが出来たりと、とても貴重な体験ができます。「そんな簡単にボランティア出来ない。」と思った方、ご安心ください。ボランティアに必要なものはやる気だけです。待っていても誰も協力してくれません。でも「やりたい、知りたい」という気持ちがあれば、自分自身で行動し世界や視野を広げる事が案外簡単に出来ます。もちろん、「初めてだから不安だ、学校の近くのボランティアを探したい」と思っている人は、是非ボランティア支援室に足を運んでみて下さい。あなたの知らない世界がきっと待っていると思いますよ！！

お知らせ

次回の広報誌は1月頃の発行となります。次回号では、春休みのお勧めボランティアをご紹介します。ボランティア支援室のホームページも更新していますので是非ご覧ください。

ボランティア情報



[冬休み自然体験教室]

冬休みに行われる小・中学生対象の自然体験キャンプ教室のボランティアスタッフの募集です。子どもが好きな方、教員志望の方、アウトドアが好きな方にお勧めです！！スキー・スノーボード教室や牧場体験教室があります。締め切りは11月19日までなのでお早めに！！

[つづき冬の遊び場2009]

障がいのある子どもたちとペアになって、一緒にもちつき・たこ作り等のお正月遊びをします。活動日は12月23日ですが、研修会や顔合わせ会も参加必須です。締め切りは12月4日までです！！

詳しくはボランティア支援室までお越し下さい！！

発行：神奈川大学横浜キャンパス ボランティア支援室

〒221-8686

神奈川県 横浜市 神奈川区 六角橋 3-27-1

神奈川大学 横浜キャンパス 17号館24教室

閉室日時：月曜日～金曜日 10:00～17:00

TEL: 045-481-5661 (内線4236)

FAX: 045-481-2736

E-mail: vol-center@kanagawa-u.ac.jp

HP: <http://www.hs.kanagawa-u.ac.jp/volunteer/>